

社会の
「いきいき」の
ために

宝酒造 田んぼの学校

次世代を担う子どもたちに、自然環境や生物多様性を守ることの大切さを伝えます。

宝酒造 田んぼの学校

宝酒造は、穀物や水、微生物など自然の恵みを受けて事業活動を行っています。このため、企業理念に「自然と社会と人間との調和」を掲げ、古くから環境活動に取り組んできました。この活動の一環として、次世代を担う子どもたちに自然環境や生物多様性を守ることの大切さ（環境教育）や自然の恵みのありがたさ（食育）を伝えることを目的として、2004年より「宝酒造 田んぼの学校」を開校しています。8年目となる2011年度からは、場所をこれまでの千葉県から新しく京都府に移し開催しました。

小学生とご家族を対象に、5月から11月までの間に南丹市園部町の田んぼと宝酒造伏見工場で、稲作体験や自然観察などの授業を4回にわたって行います。

 F:宝酒造 田んぼの学校

5月

田植え編

田植え体験では、20cmほどに育ったもち米の苗をみんなで植えます。自然観察の授業では、「はじめよう自然観察 五感を使って」をテーマに2~3家族ずつの小さな班に分かれて、講師や社員サポーターと一緒に田んぼの周辺を観察します。

田植え体験



おそろおそろの田んぼの中に足を踏み入れ、田植えのスタート。

自然観察



自然観察講師の説明に興味津々。

7月

草取り編

草取り体験では、成長の妨げとなる草を抜いたり田んぼの土の中に埋めたりして、稲が育ちやすい環境をつくります。自然観察の授業では、「生きるための知恵と工夫」をテーマに、ルーペを使って、たくさんの生き物を観察します。

草取り体験



根が張った草を抜くのは一苦労。

自然観察



ルーペを使って、ヒマワリの花をよ〜く観察。

10月

収穫編

稲刈り体験では、1mを超える大きさに育った稲をカマで刈り取ります。また、千歯こぎによる脱穀体験や稲を天日で干すはざかけも体験します。自然観察の授業では、「田んぼの中の命のつながり」をテーマに田んぼや生き物を観察し、いろんな生き物が稲を育てていることを学びます。

稲刈り体験



株をかき分けながら刈るのは結構難しい。

脱穀体験



モミがパラバラと落ちて楽しい。

自然観察



バッタやコオロギなどたくさんの生き物に夢中。

11月

恵み編

恵み編は、宝酒造伏見工場で開催します。工場見学をしながらクイズに答えたり、植物の種子の不思議について学んだりします。昼食は収穫したもち米を使ってのおもちパーティー。午後からは、大人と子どもに分かれて、大人は本みりんの授業を受け、子どもは田んぼの学校特製本みりんに貼るオリジナルラベルを作成します。

おもちパーティー



自分たちで育てたもち米で作ったおもちの味は格別。

オリジナルラベル作り



お父さん、お母さんへの感謝の気持ちを込めました。

翌年

特製本みりん完成!

収穫したもち米を使って、当社の工場の特製の本みりんを造ります。子どもたちが手づくりしたオリジナルラベルを貼って、参加者のもとにお届けします。

